

● 使用目的・適用雑草と使用方法

作物名	使用目的	使用量		使用時期	使用方法	総使用回数	
		薬量 (g/ml)	希釈水量 (ml/ml)			本剤	フルルプリミドール
日本芝	草丈の伸長抑制	0.2~0.4	250~300	芝生育初期~芝生育盛期	全面均一散布	2回以内	6回以内(粒剤は2回以内)
西洋芝 (ベントグラス)		0.1~0.2					8回以内(粒剤は2回以内)
西洋芝 (パーミュダグラス) 西洋芝 (ブルーグラス)							2回以内
樹木類	新梢伸長抑制による剪定軽減	0.8~2.0	100~300	刈込・剪定後新梢伸長開始前	全面均一土壌散布	1回	1回

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量		使用方法	総使用回数	
					薬量 (g/ml)	希釈水量 (ml/ml)		本剤	フルルプリミドール
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、 道路、運動場、宅地、のり面等	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草の伸長抑制	雑草発生前 ~発生始期	0.4~0.8	100~300	植栽地を除く樹木等の 周辺地に全面均一散布	3回以内	3回以内

- 種類名：フルルプリミドール水和剤
- 有効成分：フルルプリミドール50.0%
- 性状：類白色水和性粉末60μm以下
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
- 急性経口毒性(LD50)：ラット♂ 1,698mg/kg ラット♀ 1,972mg/kg
- 急性経皮毒性(LD50)：ウサギ♂♀ >5,000mg/kg
- 水産動植物に対する影響：コイ LC50(96hr) 26.2mg/L

● 効果・薬害等の注意

- 極端な乾燥条件下での使用はさけてください。また本剤は土壌処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根域に達する必要があるため、散布後にかん水することをおすすめします。かん水設備のない所では降雨前の散布をおすすめします。
- 本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
- 本剤を芝に使用する場合は次の注意を守ってください。
  - 一 本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合がありますので、まきむらのないよう均一に散布してください。
  - 一 特に極端な傾斜地での使用に十分に注意してください。
  - 一 本剤(及び本剤と同一の有効成分を含有する薬剤)の伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向にあるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。また、過剰な伸長抑制効果をさけるため、2回目の処理を行う場合は、効果が切れる時期に行ってください。
  - 一 散布後効果発現までに日数を要するので、刈込直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
  - 一 ターフ形成前の芝生、生育が弱っている芝生、健全な芝生でも生理障害が出やすい条件の芝生には使用をさけてください。
- 本剤を新梢伸長抑制による剪定軽減の目的で使用するには次の注意を守ってください。
  - 一 極端に樹勢や生育が旺盛な場合には、効果が不十分な場合がありますので注意してください。
  - 一 樹勢や生育が劣っている場合や生理障害が出やすい条件では使用しないでください。
  - 一 幼木では使用しないでください。
  - 一 本剤の伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向があるので、希望する抑制効果に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。
  - 一 本剤の施用により翌年まで効果が持続することがあるので、次年度の処理に際しては、その反応に応じて薬量を適宜調整してください。
  - 一 本剤の連年施用により枝および葉の生育や開花等に影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
  - 一 花木類では花蕾や枝葉の観賞性に影響することがあるので、本剤の使用は留意してください。
  - 一 下記以外の樹木類の属する作物に対して本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるか、自ら事前に薬効及び薬害を確認した上で使用してください。【カツカイブキ、ベニカナメモチ、マテバシイ、トキワマンサク、ヒバ類】
- 水源地、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 散布器具・容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空き袋等は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

▲ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲みこんだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

使用前によくお読みください

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

お問合せ ☎ 03-5339-1717

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト9F  
FAX: 03-5339-1739 MAIL: info@c-nexco-het.jp

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京

検索

https://www.c-nexco-het.jp/



製造会社 株式会社ニチノ一緑化

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14番4号 岡谷ビルディング6階  
TEL: 03-3808-2281 FAX: 03-3808-2360 URL: http://www.nichino-ryokka.co.jp/ 2021年11月発行



良好な景観維持

植物を枯らすことなく伸長成長を抑制することで、緑地を良好な景観に維持することができます。

植栽作業の軽減  
処分量の低減

雑草等の草丈や樹木の新梢伸長を抑制することで、定期的な植栽作業の軽減を図れるほか、刈草や剪定枝などの処分量を低減することができます。

安全性  
サービスレベルの確保

雑草や樹木類の繁茂を抑制することで、区域外への張り出し防止や見通し及び標識等の視認性の確保を図ることができます。

使用場所

ランドワーカー水和剤は高速道路の緑地をはじめ、  
鉄道の線路周辺、駐車場内の緑地など、幅広い場所で使用が適しています。



高速道路周辺



鉄道線路周辺



鉄塔周辺



のり面及びインターチェンジ周辺



インフラ施設の建物周辺



インフラ施設の駐車場



# ランドワーカー水和剤とは？

ランドワーカー水和剤は、植物の伸長成長を促す植物ホルモンであるジベレリンの生成を阻害することにより、植物の伸長を抑制する植物成長調整剤(植調剤)です。芝生や雑草などの草本植物だけでなく樹木類への使用についても農業登録されているため、さまざまな植物への使用が可能です。

ランドワーカー水和剤は土壌に散布することで、有効成分が土壌中に処理層を形成し、根から成分を吸収することによって効果を発揮します。

## 実際の使用イメージ

### ▼ 高速道路の路肩周辺



無処理区

植調剤処理区



ランドワーカー水和剤処理から4ヶ月経過  
試験地：静岡県東名高速道路路肩  
処理日：2010年4月 撮影日：2010年8月

### ▼ 道路の盛土のり面



無処理区

植調剤処理区



ランドワーカー水和剤処理から3年と7ヶ月経過  
試験地：静岡県 東名高速道路のり面  
処理日：2013年3月 撮影日：2016年10月

(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社・日農グループ・NEXCO 共同研究結果)

## 植物成長抑制のしくみ

ジベレリンの生合成阻害

節間の伸長抑制

草丈の伸長抑制



ランドワーカー抑制処理

無処理

- ✓ 節間長が伸びなくなる
- ✓ 葉や根の成長には影響なし
- ✓ 成長は抑制するが、枯らすことはない

## ランドワーカー水和剤を利用した管理事例

### 雑草類

雑草の伸長前に散布することにより、春から夏の成長期に伸長成長を抑制し、夏の草刈りを軽減する。

#### 管理イメージ

草刈りによる管理に比べ長期的に、草丈を低い状態に維持し、年間を通して美観を維持

#### ▼ 一般的な草刈りによる管理



#### ▼ ランドワーカー水和剤を利用した管理



### 樹木類

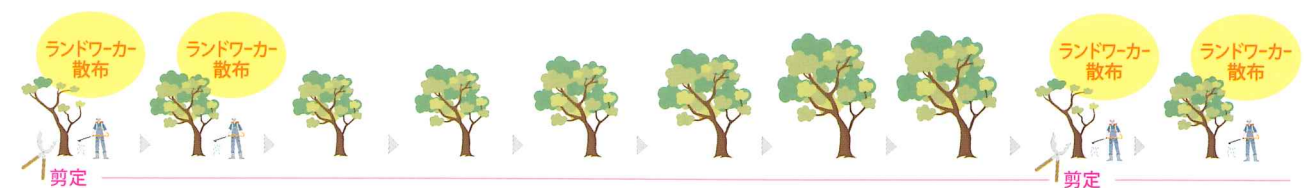
新梢の伸長前に散布することにより、枝幹の伸長成長を抑制し、樹高抑制や形状維持のための高刈りなどの剪定頻度を低減する。

#### 管理イメージ

#### ▼ 一般的な剪定による樹高管理



#### ▼ ランドワーカー水和剤を利用した樹高管理



(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社社内試験結果シミュレーション)

## 使用上の注意

成長抑制効果を発揮させるためには、適切な使用方法で、均一に散布することが大切です。薬液を準備する際には、薬剤が均一に混ざるよう二次希釈することを推奨します。

